

CALFA BAC III

CALFA CONDUCTIVITY CONTROLLER

あなたに代わって「24時間」水の濃縮度を管理

**「冷却水」を医療レベルで
「マイクロ・マネジメント」**

「国産医療機器メーカー」の「ユニット&センサー」を搭載!!

CALFA BAC III (自動ブローダウン装置)

任意の電気伝導値を2点(高・低)登録いたします。水の濃縮が進み電気伝導度が「高」の値に達した時点で、電動ボール弁が解放され「低」の値まで排水し続けます。この範囲の中で常に「最適な水質」で冷却水をコントロールし、あなたに代って面倒な「水の濃縮度管理」を **CALFA BAC III** が全て「正確に」「確実に」自動で行います。

NEW

「医療機器レベル」の「マイクロ・マネジメント測定」!

NEW

現場環境に合わせて「100V / 200V」どちらにも対応!

(フリー電源: AC 85V ~ 250V 50/60Hz)

NEW

「98% メンテナンスフリー」 自動で理想的な水質管理!

CALFA BACなら スケルトン・ケースを採用!

配線はアルファベット・色を合わせるだけの「らくらく配線接続」。設置しているその場を通るだけで「ケース外側」から数値を「らくらく確認」。



誰でも簡単! 文字合わせ配線

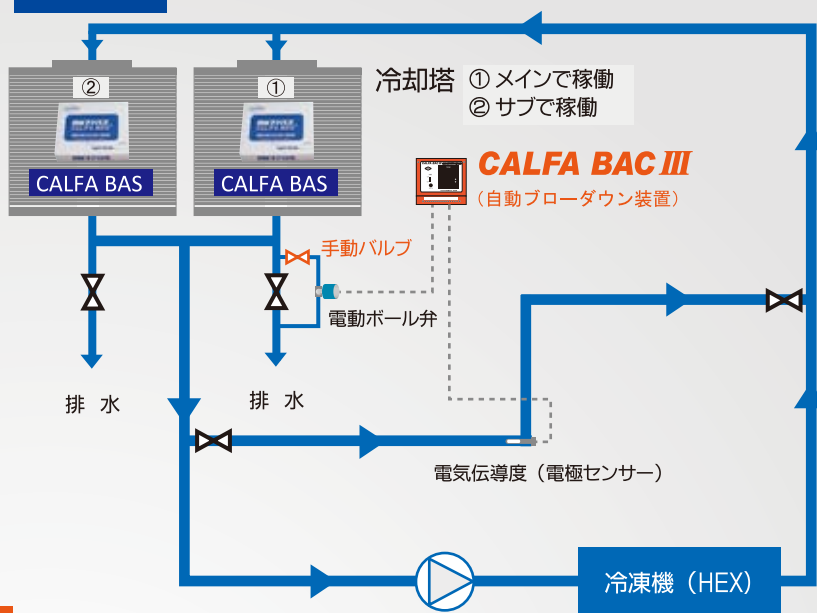


オシャレな防水スケルトン

Case.1



Case.2



電動ボール弁の前に手動バルブを必ず設置し、排水量を「調整」出来る様にして下さい

[Case.1] 小型クーリングタワー 1 台での使い方です。

クーリングタワー下部の「排水管」を延長して増設致します。塔内清掃の際に異物を排出しやすくする為に、電動ボール弁は必ず左図のように「バイパス」を組んで取り付けして下さい。(鉄管・塩ビ管 / 可能)
電気伝導度を計測する「電極センサー」はクーリングタワー内部に引き込み、センサー全体が冷却水に浸かるように配置します。

[Case.2] 「水質1種類」 = CALFA BAC III × 1 台

複数台のクーリングタワーが連結されていても、「1系統 (水質が1種類)」であれば CALFA BAC III (自動ブローダウン装置) の設置も1台で結構です。電動ボール弁は「メインで稼働する」クーリングタワー側に設置して下さい。センサーは「冷却塔に投げ込み」・「配管にねじ込み」の両対応。

主な製品仕様

型 式	CALFA "BAC-III"
定格電源電圧	AC 85-250V 50/60Hz 単相
平均消費電力	8W 以下
周囲温度	0 ~ 50℃
伝導率測定範囲	0 ~ 20,000 μS/cm
伝導率制御範囲	100 ~ 20,000 μS/cm
伝導率表示	5桁赤色 LED (7セグメント)
本体重量 (制御 BOX)	2.6Kg (専用防水カバー含む)
本体寸法 (制御 BOX)	258(W) × 220(H) × 159(D) /mm
専用防水カバー	屋外用: 保護等級 IP65
出力接点容量	誘導負荷 AC220V/DC24V 2A (電動弁等)
電 極 材 質	本 体: PVC 電極部: SUS316L ねじ込み: R3/4

※電極 (センサー) ケーブル長さは標準で5mです。その他の長さはお問い合わせください。
※電動ボール弁は電源が 100V・200V によって仕様異なりますので「別売り」となります。



冷却塔内部には、弊社の水処理剤 CALFA BAS (カルファパス) をご使用をお勧めします。"CALFA BAS" がすでに付着した熱交換器内のスケールをクリーニング致します。熱交換器内の異物を除去しなければ、いくら「水質浄化」をしても「省エネ効果」は得られません。

【製造元】

CALFA CHEMICAL



カルファケミカル 株式会社

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 1-19-6
TEL:045-504-1120 FAX:045-501-0843
WEB:http://www.calfa.net